

学校の様子（体育の授業から）

今日は、体育の授業を紹介します。

本校では、武道として柔道に取り組んでいます。一年生が、後ろ受け身について学びます。後ろ受け身は、後ろに倒れる（転がる）際に、頭部を危険から守るために行います。まずは、長座の姿勢から練習します。ちょうど、中間考査や行事があり、1ヶ月近くのブランクがあったことから、前回、学んだことを思い出しながらの展開です。

先生から、基本として、「後頭部が頭に当たらないようにすることが必要」との危険回避の説明があった後、「どうすればいいんだっけ?」と投げかけます。そして実際に思い出しながら受け身を行います。

「頭がつきそうだったり、膝が顔に当たりそうになったりして、怖かったのはなぜだろう」「両腕を使わずに身体で受け身をするのは、どうすればいいのかな?」

生徒たちは、2人組になっている相手と試しあったり、話しあったり、試行錯誤する中で、ある生徒が「お腹に力を入れて、足をピーン。」と言いました。

「どうピーンとすればいいの?」と、先生は投げかけます。

その言葉を受けて、各々の組みが、理想の型を探ります。足を伸ばすものの後転しそうなパターンもあり、先生から「危険な匂いがするが、なんだろう?」とさらに投げかけられます。

生徒たちが言いあぐねていると、「間違ってもいいから言ってみよう。それを馬鹿にするのは許さないよ。」との後押しがあり、あちこちで話し始めます。

その中である生徒が「足じゃない?」「上じゃなく、前じゃない?」と言い、授業に参加する生徒は納得。先生から、横から見るとちょうどチェックマークの形になるようにとの説明があり、生徒たちは、理想の型を導いていました。

生徒たちが、どうすれば良いのか考え、試して、意見を出し合い、また考え、試して気づいていくというサイクルで、生徒たちも生き生き取り組んでいました。

